

No.	017	—	3001	事務事業名	地域公共交通に関する事務	細事務事業名		公的関与	6				
PLAN	課名	都市整備課	係名	都市計画係	電話番号	089-964-4412	メールアドレス	tosiseibi@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	21年度～	年度				
	総合計画	政策目標	第5章 自然と調和する快適な都市基盤のまち	政策項目	5 道路・交通網の整備	主要施策	(5)公共交通機関の利便性向上						
	事業の対象	公共交通利用者（高齢者や子ども等）				根拠法令	地域公共交通活性化再生法、道路運送法						
	事業の目的	最終的	東温市に合った地域公共交通体系の構築等により、市民の移動手段を確保します。			今年度	平成22年度に策定した「東温市地域公共交通総合連携計画」に基づき、公共交通の改善・利用促進を図っていきます。また、このままでは公共交通の維持が困難な地域（特に山間部）で地域住民と協働で、その地域に適した移動手段の確保策を検討していきます。						
	活動内容	①	東温市地域公共交通総合連携計画・地域公共交通活性化プランに基づき、公共交通の再編を進めます。			④	運行事業者や各種団体と協力し、路線バス体験教室等を開催し、公共交通の利用促進に取り組みます。						
		②	地域に適した移動手段の確保策として予約制乗合タクシー等の新たな公共交通の実証運行を行います。			⑤							
		③	冊子の配布や転入者への情報提供等を行い、公共交通情報の積極的な発信を行います。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標			
		東温市地域公共交通活性化協議会の開催回数		協議会での議論をもとに地域公共交通の活性化に取り組むため。		回	目標 4	4	4	4			
					実績 4	5							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	土木			費				
	直接事業費		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考							
		国・県支出金	4,084 千円	1,870 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	4,472 千円	2,610 千円	5,895 千円								
	計(A)	8,556 千円	4,480 千円	5,895 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.496 人	3,023 千円	0.546 人	3,283 千円	0.546 人	3,288 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		11,579 千円		7,763 千円		9,183 千円						
一次評価者	都市計画係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	2	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	市民と交通事業者等をつなぐ役割として市が主体的に取り組んでいき、公共交通の維持・活性化を推進していく必要があります。												
有効性	取り組みの評価を定期的に行い、施策の見直しや改善を行っていきます。												
達成度	様々な関係者が参画する協議会を定期的を開催し、関係者間の話し合いを進めていくことができます。												
効率性	市だけではなく、市民や交通事業者等、様々な団体が主体となって取り組むことができる体制づくりを進め、それぞれの長所を活かしていきます。												
当面の課題	バス路線の再編や予約制乗合タクシー等の新たな公共交通の導入を継続的に行い、持続可能な公共交通ネットワークづくりを進めていく必要があります。												
改革計画	東温市の特徴に合った公共交通ネットワークの構築のために路線の再編や公共交通利用促進活動を行っていきます。また、これまでの取り組みを踏まえた新たな計画策定に向け、準備を進めていきます。												
二次評価者	都市整備課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	2	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	今後もバス路線の利用状況を見ながら路線の再編や予約制乗合タクシー等の新たな公共交通の導入を検討し、持続可能な公共交通ネットワークづくりを進めて下さい。また、これまでの取組みを踏まえた新たな計画策定に取り組む必要があります。												

No.	017	—	3002	事務事業名	愛媛大学医学部周辺整備に関する事務	細事務事業名		公的関与	3				
PLAN	課名	都市整備課	係名	都市計画係	電話番号	089-964-4412	メールアドレス	tosiseibi@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ハード事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 27 年度				
	総合計画	政策目標	第5章 自然と調和する快適な都市基盤のまち		政策項目	2 魅力ある市街地の整備		主要施策	(2)市街地の計画的整備				
	事業の対象	愛媛大学医学部周辺地区				根拠法令							
	事業の目的	最終的	交通の利便性(伊予鉄道高浜横河原線)や公共施設(東温高校、愛媛大学医学部付属病院等)に恵まれた地区の地域条件を生かし、都市基盤の整備された良好な市街地の形成を図ります。				今年度	前年度に引続き、都市再生整備計画事業として、都市基盤施設の整備を行います。					
	活動内容	①	前年度に引続き、市道見奈良1号線の改良工事を実施します。				④	前年度に引続き、志津川地区の公園整備工事を実施します。					
		②	前年度に引続き、市道樋口東温高校線の改良工事を実施します。				⑤	前年度に引続き、愛媛大学医学部周辺地区の浸水対策事業を実施します。					
		③	前年度に引続き、志津川土地区画整理事業の工事を実施します。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標		
		道路整備状況(歩きやすさ等)についての市民満足度		アンケート調査による道路幅員や歩道の歩きやすさ、路面状況等の道路整備状況に対する市民満足度(5段階評価の平均点)			点	目標			2		
防犯・防災対策に対する市民満足度		アンケート調査による街路灯の整備状況や緊急避難路・水害対策に対する市民満足度(5段階評価の平均点)			点	目標			3				
歩いて公園へ行ける区域の割合		事業区域内で公園・緑地へ徒歩5分程度で歩いて行ける区域の割合			%	目標			70				
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	土木			費			
	直接事業費		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考							
		国・県支出金	178,167 千円	192,780 千円	0 千円								
		地方債	240,500 千円	262,000 千円	0 千円								
		その他特定財源	49,216 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	28,542 千円	64,652 千円	103,527 千円								
	計(A)	496,425 千円	519,432 千円	103,527 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	5.111 人	31,146 千円	5.422 人	32,602 千円	5.442 人	32,772 千円					
		臨時職員工数・経費	0.231 人	435 千円	0.231 人	449 千円	0.231 人	444 千円					
	全体事業費(A+B)		528,006 千円	552,483 千円	136,743 千円								
一次評価者	都市計画係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	大型施設(病院、学校等)により分断されている市街地の一体性を高め、都市基盤の整備水準を図り、地域住民の生活の向上と地域社会の活性化のため必要な事業です。												
有効性	都市再生整備計画として国の認可を受けることにより、国の助成を受け、まちづくりに必要な事業が実施できます。												
達成度	志津川土地区画整理事業を基幹とした道路や公園などの整備を年度の施行予定区域で実施しました。												
効率性	競争入札制度等を利用して、委託費や工事請負費の削減が図られました。												
当面の課題	事業も終盤となり、本事業の基幹事業である志津川土地区画整理事業について、道路整備の遅れが、換地計画の認可・換地処分等の事業精算事務の遅れにつながるため、事業計画どおりの進捗を図る必要があります。あわせて、事業計画の見直しを行う必要があります。												
改革計画	仮換地指定・補償契約が行えていない方に対し、同意が得られるよう交渉を行い、早期に工事着手が行えるよう努めます。なお、交渉結果により同意が得られない場合は、直接施行の執行を検討いたします。資金計画の見直し。												
二次評価者	都市整備課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	志津川土地区画整理事業では、良好なまちづくりを目指し、計画的な都市基盤施設の整備を行うことが重要です。事業も終盤となり、今後、保留地の早期売却、事業計画及び資金計画の見直しを行う必要があることから、適正な事務処理に努めて下さい。また、「まちづくりガイドライン」の適切な運用により、魅力ある市街地の形成に努めて下さい。												

No.	017	—	3003	事務事業名	生活交通バス路線運行事業補助金	細事務事業名		公的関与	6				
PLAN	課名	都市整備課	係名	都市計画係	電話番号	089-964-4412	メールアドレス	tosiseibi@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	補助等	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度	期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第5章 自然と調和する快適な都市基盤のまち		政策項目	5 道路・交通網の整備		主要施策	(5)公共交通機関の利便性向上				
	事業の対象	市内を運行するバス路線				根拠法令							
	事業の目的	最終的	地域住民の貴重な交通手段である路線バスの運行を確保し、鉄道と路線バスによる交通ネットワークを維持していきます。			今年度	交通事業者へ運行助成を行い市内バス路線の維持を図ります。また、地域と協働で新しい公共交通の導入を進めていきます。						
	活動内容	①	生活交通バス路線を維持するために、運行事業者に助成を行います。			④							
		②	上林地区で予約制乗合タクシーの運行を開始します。			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標			
		生活交通バス路線の維持		市内の生活交通バス路線数		路線	目標	11	10	9			
実績							11	9					
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	土木			費				
	直接事業費		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	28,008 千円	27,990 千円	24,540 千円								
	計(A)	28,008 千円	27,990 千円	24,540 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.149 人	908 千円	0.149 人	896 千円	0.149 人	897 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		28,916 千円	28,886 千円	25,437 千円								
一次評価者	都市計画係	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	公共交通を日常生活の移動手段としている住民の生活を支えるために必要な事業です。												
有効性	地域の移動手段となっている公共交通を確保するために有効な事業だと考えます。												
達成度	利用状況に応じた見直しを進めながら、路線網の維持・確保を行うことができます。												
効率性	効率的な取り組みとなるよう、定期的に利用状況を調査し、見直しを進めています。												
当面の課題	路線バスに限らず公共交通を取り巻く環境が年々厳しくなっており、運行欠損額(赤字)も増加傾向にあります。												
改革計画	地域公共交通活性化の取り組みと連携し、市内バス路線の維持に努めていきます。また、地域公共交通活性化プランに基づき、再度、バス路線の見直しを行うとともに、予約制乗合タクシー等の新たな公共交通の導入を検討し、随時進めていきます。												
二次評価者	都市整備課長	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	市民の移動手段を確保するため、各地域に適した公共交通サービスの提供を継続する必要があります。今後も市民への公平なサービスの提供のため、運行ダイヤの見直しやバス路線の廃止、また、需要に見合った公共交通の導入を検討し、公共交通の維持・活性化に努めて下さい。												

No.	017	—	3005	事務事業名	横河原駅周辺整備に関する事務	細事務事業名		公的関与	3				
PLAN	課名	都市整備課	係名	都市計画係	電話番号	089-964-4412	メールアドレス	tosiseibi@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ハード事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	26年度～28年度				
	総合計画	政策目標	第5章 自然と調和する快適な都市基盤のまち		政策項目	5 道路・交通網の整備		主要施策	(3)人と環境にやさしいうるおいある道路空間づくり				
	事業の対象	横河原駅周辺地区				根拠法令							
	事業の目的	最終的	横河原駅の駅舎改築にあわせ、駅周辺の整備を行い、公共交通の利便性及び横河原地区の生活環境の向上を図ります。			今年度	整備に向けて、実施設計を行います。						
	活動内容	①	整備に向けて、伊予鉄道㈱と協議を行います。			④							
		②	工事の実施設計を行います。			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標			
		横河原駅の1日あたりの利用客数		アクセス環境の改善により、駅利用者数の増加が期待できるため		人/日	目標	—	1,310	1,225	1,307		
					実績	—	1,225						
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	土木		費					
	直接事業費		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	0千円	1,715千円	17,800千円								
	計(A)	0千円	1,715千円	17,800千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000人	0千円	0.025人	150千円	0.025人	151千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		0千円	1,865千円	17,951千円								
一次評価者	都市計画係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	平成22年度に実施した横河原まちづくりワークショップにおいて、駅周辺の整備を求める意見が多く、駅舎改築のタイミングに合わせて実施すべきだと考えます。												
有効性	平成23年度に暫定整備を行った駅前広場を活かしたうえで、整備の目的を、駅へのアクセス道路の整備、地域交流広場(イベントスペース)の整備に絞り、事業を実施していきます。												
達成度	当初の整備スケジュールどおり事業が進んでいます。												
効率性	都市計画マスタープラン等での構想を見直し、駅舎改築と同時整備することで最大限効果を発揮することができる内容としています。												
当面の課題	整備内容や時期等を伊予鉄道㈱と調整する必要があります。												
改計画	十分に協議を行い、予定どおり整備が進むように取り組んでいきます。												
二次評価者	都市整備課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	横河原駅の駅舎改築に合わせて事業を実施する必要があることから、今後も伊予鉄道㈱と十分な協議を行うことにより、円滑な事業実施に努めて下さい。												